

ご あ い さ つ

京都府高等学校体育連盟
両丹支部長 中 道 浩
(京都府立東舞鶴高等学校長)

平成29年度当初に京都府高体連両丹支部長および京都府高体連副会長の大役を拝命してから、早2年が過ぎようとしています。当初はその職責の重さに大きな不安を感じておりましたが、角井弘之会長をはじめ、本部事務局等の多くの方々に格別の御協力と御支援をいただき、何とか任務を終えることができました。あらためまして、関係のすべての皆様に心より御礼申し上げます。

今年度の両丹支部関係の事業につきましては、最大の行事であります両丹高等学校総合体育大会は、春の全日制および秋の定時制通信制ともに無事成功裡に終わることができました。しかし、秋の両丹高等学校駅伝競走大会は、思いもよらぬ大雨警報発表により、残念ながら中止となりました。昨年度より参加チーム数も増え、さらなる活性化が期待されていただけに、大変悔やまれるところです。一方、年間を通しての各専門部の大会や諸行事は両丹支部役員、各専門部の顧問、また各校の保健体育科の多大なる尽力によって活発に行われ無事に終了できました。厚く感謝申し上げます。

さて、今年度も両丹地域の高校生の活躍が顕著な年でした。全国高校総体では工業高校アーチェリー部が男子団体で5位入賞を果たしたのをはじめ、レスリング競技では網野高校の高橋夢大選手が男子80kg級、伊藤海選手が女子47kg級、そして海洋高校の今井佑海選手が女子53kg級で優勝の栄冠に輝きました。今井選手は大会2連覇の偉業を達成し、両丹の選手に大きな感動と希望を与えてくれました。また、全国選手権大会では、ウエイトリフティング競技で加悦谷高校の武藤理恵瑠選手が優勝、団体でも加悦谷高校が3位入賞を果たしています。さらに、第73回国民体育大会ではレスリング少年男子フリースタイル80kg級で、網野高校の高橋夢大選手が全国高校総体に続いて全国制覇を成し遂げました。他にも、両丹の選手総勢136名が、17競技にわたって全国大会に出場し、活躍しました。

一方、夏の全国高校定時制通信制体育大会には、両丹から3競技（陸上競技・卓球・バドミントン）4校11名が出場しました。その中で陸上競技男子円盤投で宮津高校伊根分校の前野孝太選手が3位に入賞、また、網野高校間人分校の平井駆選手が出走した男子4×100mリレーで京都チームが5位に入賞を果たしました。

いよいよ2020東京オリンピック・パラリンピック開催が1年後となりました。舞鶴市ではホストタウンとしてウズベキスタンの柔道・レスリングの直前合宿が行われることが決定しています。また、同年には全国高校総体が分散開催となり、福知山市でソフトテニスが行われます。この他にも、2021年には関西ワールドマスターズのソフトテニスが同じく福知山市で開催される等、この両丹地区において体育・スポーツが発展していく機運がますます高まっています。このような中で、両丹地域の高校生が、これまで以上にスポーツに関心を持ち、意欲的に取り組んでくれることが期待されます。また、各学校、各専門部、高体連両丹支部が果たす役割は一層大きくなっていくことでしょう。

結びに、両丹支部長の任を終えるにあたり、御協力、御支援いただきました関係の皆様にご感謝申し上げますとともに、高体連両丹支部の一層の発展と皆様方の御健勝を祈念して御挨拶とさせていただきます。